

災害に強い

まちづくりをめぐって

地震や津波、台風や大雨といった自然災害は、時に私たちの大切な命や財産を一瞬にして奪い去ります。

このような自然災害から身を守るため、町や地区、学校では、さまざまな取り組みを行っています。

災害発生時の

重要な通信手段として

九月二十六日、町は大規模災害などにより、避難所が開設されたとき、避難した方々に通信手段の提供ができるように、NTT西日本宮崎支店と避難所特設公衆電話の設置・利用に関する協定を締結しました。



協定書に調印するNTT西日本宮崎支店の朝長支店長（左）と小澤町長（右）

今年度中に高鍋町総合体育館や高鍋町中央公民館など、町が避難所に指定している十五カ所に二十三回線の設置を行う予定です。電話機は町が

防災手帳の活用を

東日本大震災の教訓を基に作成され、今年三月に全戸配布された「みんなの防災手帳」の発行を記念した講演会が九月十九日、高鍋町美術館で行われました。

「東日本大震災から学ぶ防災・減災対策」震災を風化させないために」という演題で行われた講演会には、手帳を作成した東北大学災害科学国際研究所の今村文彦所長が約七十人の来場者を前に東日本大震災が起こったメカニズムや、この震災で学んだことを生かした地域づくりについて講演を行いました。

今村所長は「この手帳に家族の情報や連絡先、持病などを書き入れ、いつも持ち歩くことで、災害に対する心構えを身に付けて欲しい」と話しました。

手帳には東日本大震災で被災した方の生の声も掲載されています。防災・減災のための知恵が詰まったこの手帳をぜひ活用してください。



今村所長の話に熱心に耳を傾ける来場者

夜間の災害から

身を守るために

十一月九日、水除地区で夜間に地震による津波が発生した場合を想定した避難訓練が、宮崎県防災士ネットワークやライオンズクラブなど各種団体の協力を得て実施されました。訓練では、日没の六時過ぎから無線や連絡網で地区住民に避難を呼びかけ、海抜四十メートルの地点まで避難しました。家族五人で訓練に参加した堀内朋美さんは「道端の段差や側溝は、暗闇だと恐怖に感じた」と話し、水除地区の木下勉公民館長は「二十四時間いつ発生するか分からない災害に対応できる知識や備えは大切。今後もし引き続きこのような訓練を行っていききたい」と話してくれました。



懐中電灯で足元を照らしながら訓練に臨む参加者の皆さん

日ごろから災害に対する意識の向上に努めて、いざという時に小さな子ども達に頼られる存在になりたいです。



高鍋高等学校1年 浜松 泰光さん

本当の津波が襲ってきたら、一分一秒の差が命取りとなるので、このような訓練に真剣に取り組みたいと思います。



高鍋東小学校6年 古瀬 菜津美さん

「連携」を強化する 避難訓練を実施

十月三十一日、高鍋東小学校と高鍋高等学校が合同の避難訓練を行い、一緒に高鍋農業高等学校の第二グラウンドまで避難しました。今回、訓練に参加した小学生と高校生に話を聞きました。



疲れて歩く小学生に「がんばれ！もう少し！」と言葉かけをする高校生

The Interview

「ゾーン30」が設定されました



歩行者や自転車利用者などが、日常生活で利用することの多い生活道路。その安全を確保するため、10月から石原街区公園を中心とした一帯の区域が「ゾーン30」に設定されました。この区域内には、住宅街だけでなく、通学路や商店街、保育園や老人福祉施設など、日常生活に関連した施設が集約されているため、子どもと高齢者の交通事故防止対策の一環として区域を単位とした対策が実施されています。

● 「ゾーン30」とは？

生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的に、区域（ゾーン）を設定して時速30キロの速度規制を行います。また、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制やゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制などを図る生活道路対策です。

● 生活道路における事故の状況

高鍋町の道路は、総延長距離が約281キロメートルあり、その内車道幅員5.5メートル未満の生活道路は約118キロメートル（規格改良済の車道）で、全体の約4割を占めています。

生活道路は幹線道路に比べて道幅が狭かったり、渋滞を避ける車が抜け道として利用することが原因で歩行中や自転車乗用中の交通事故死傷者の割合が高くなっています。

また、自動車の速度が時速30キロを超えると歩行者の致死率は急激に約3倍近く上昇します。

今回設定された区域では、過去5年間で約100件、年間平均約20件の人身事故が発生しており、私たちの身近な生活道路で重大事故が発生するケースが増加しています。

● 「ゾーン30」の主な対策

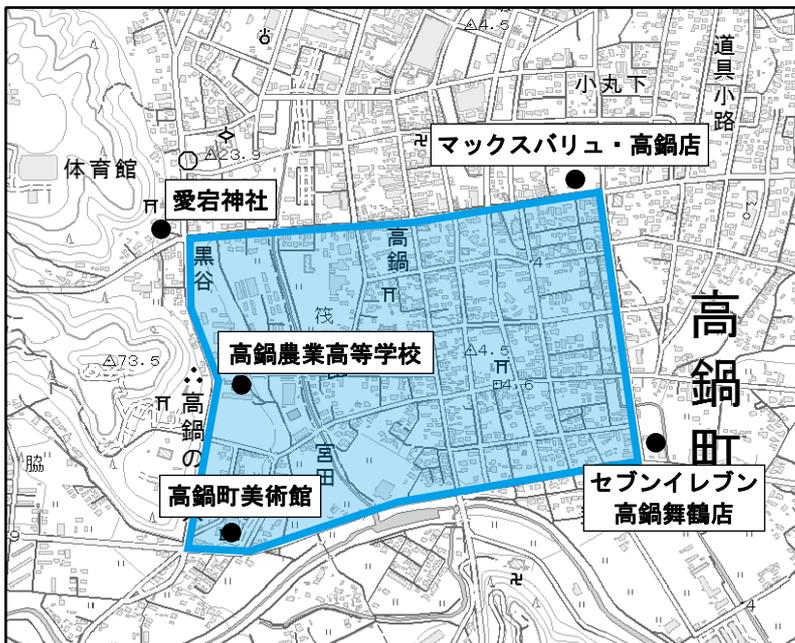
設定された区域（ゾーン）では、車両のスピード抑制や通り抜け車両を減少させるために、

①最高時速30キロの速度規制の適用

②路側帯の拡幅・交差点のカラー舗装など歩行者の通行を最優先した道路環境の整備

など、公安委員会（警察署）が実施する交通規制と道路管理者（町）が行う道路整備を組み合わせた対策が取られます。

日常生活に利用する道路で交通事故が起きることがなく、安心して通行できるように、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



高鍋町内の「ゾーン30」の区域

黒谷交差点、養崎交差点、下養江交差点、道具小路交差点を結ぶ路線で囲まれた区域内。（青色で示された路線自体はゾーン30に含まれません。路線の内側の区域が対象です。）

「ゾーン30」の区域内には入口に「標示」や「標識」が設置されています



区域規制標識



道路標示

三十人が受賞

「町民の日」記念式典・高鍋町社会福祉大会

十月一日、高鍋町美術館多目的ホールで、第四十八回「町民の日」記念式典・第四十七回高鍋町社会福祉大会が挙行され、町に功績のあった三十人の方に表彰を行いました。表彰式後に、参加者全員での町民憲章朗読、町民歌斉唱を行い、町のさらなる発展を願いました。表彰者は、次のとおりです。(受賞者の敬称は省略します)

◇一般受賞者

◎町行政部門

大山三津夫
高千穂 昇
前田 富洋
猪上 武雄
三輪 勝範
加藤 智徳
吉野 有三
椎 榮治
津曲 智邦
財津 吉和

◎民生部門

山添 純一
染矢 正弘
児島 正卓
山本 久代
飛土タミ子
桑島 守
鳥當 悦子
小柳 窈子
日野 正勝
杉 千明

◇福祉関係受賞者

大山三津夫
井崎 俊博
梅木 實雄
本部 泰男
原 敏幸
竹中 徳一
北野 富江
河野 恵子
椎葉ひろ子

◎教育文化部門

萱嶋 稔

◎自治消防に貢献

坂元 厳男



受賞者の皆さん

《姉妹都市交流》 「鷹山塾」に参加

9月27日、今年で5回目となる「鷹山塾（上杉鷹山公の改革の精神に学び、まちづくりの勉強をすることを目的とした会：米沢市主催）」に高鍋町職員の星居哲昭主任（社会教育課）と田中健士郎主事（政策推進課）が参加しました。

8月には、米沢市職員のお二人が来町し、学習活動等の交流を行いました。

今回二人は鷹山塾で「まちづくり」をテーマにした講演会に参加しました。星居主任と田中主事は「まちづくり、そして地域づくりをするために何をすれば良いのか、行政としてどのように地域と連携を取るべきかを学びました。今回ここで学んだことを生かし、町民の皆さんと一緒にまちづくりに取り組んでいきたいです」と話しました。

鷹山塾に参加したことは、これまで行ってきた日々の業務を改めて見つめ直す大きな機会となったようです。



講演会は星居主任(手前左)、田中主事(手前右)のほか姉妹都市や友好都市、米沢市職員も参加して行われた

乗って残そう！公共交通！

全国の公共交通をめぐる状況

全国では、乗合バスの路線は平成18年度～平成23年度の6年間で11,160kmが廃止になっており、これは全国の路線全体の約2.7%になります。(※参考として、北海道稚内市～鹿児島市間の直線距離は約1,810kmです) 地域鉄道の路線も、平成12年度以降で674kmが廃止になっていますが一度廃止になると、同じ路線を再開するというのは非常に難しくなります。

「今はクルマがあるから公共交通は必要ないけど、将来クルマが運転できなくなったら利用したい」という考えでは、公共交通を維持することはできません。みんなで月に1回でも利用することこそが、公共交通の維持・発展につながります。

人口減少、少子高齢化が進むなか、自分の身近な問題として公共交通のことを考えてみましょう。



たかしの 『無担保住宅ローン』 リフォーム 借換 新築

ご融資金額
1,000 万円以内

ご返済期間
3か月以上 20 年以内

※お申込みには、条件があります。また、審査の結果によってご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。詳しくはお近くの高鍋信用金庫までお問い合わせ下さい。

<http://www.takanabe-shinkin.jp>

高鍋信用金庫

はいろいろご利用頂けます 太陽光システム



※町ホームページバナー広告も随時募集しています。 ◆お問い合わせ：政策推進課 情報政策係 (TEL: 26-2003)

大好きな高鍋町の風景

十月六日、「第三回高鍋町景観絵画コンクール・景観写真コンテスト」の表彰式が高鍋町役場で行われました。

「私の大好きな高鍋の風景」をテーマに、六月から九月の期間で募集を行い、これまでで最多の絵画百二十四点、写真十二点の作品の応募がありました。受賞者は次のとおりです。

◎絵画部門

【金賞】飛田 混平さん
(高鍋西中学校三年)

【銀賞】原田 夏希さん
(高鍋西小学校五年)

【銅賞】小松 璃音さん
(高鍋東中学校二年)

上野 華鈴
(高鍋東小学校二年)

◎写真部門

【金賞】大西 美和子さん

【銀賞】伊東 嵩公さん
(るびなす支援学校 小学部二年)



応募作品は、色鮮やかな作品から情緒溢れる作品まで魅力ある町の風景が伝わる力作が集まった



◎十次の偉業を伝える

九月十三日から十月十三日まで、今年で没後一〇〇年を迎える石井十次に関する資料や美術品など一〇七点が高鍋町美術館に展示されました。期間中は約二千人の来場者が訪れ、十次ゆかりの品々を興味深く見入る姿が見られました。



学芸員が行うギャラリートークを聴きながら美術品などを鑑賞する来場者

◎利用者には喜ばれています
TVCサンカから高鍋勤労者体育センターに館内時計が寄贈されました。体育館の利用時に館内で時間の確認ができるため、大変便利になりました。



館内に設置された時計

◎田んぼに現れた巨大アート

四季彩のむらに今年で三回目となる田んぼアートができました。緑の稲穂の中に、赤と白の古代米の稲穂で描かれたハートなどに加え、今年はハッチョウトンボも描かれました。訪れる人の目を楽しませています。



田んぼアートを見に訪れる人の中には、カメラを手に足を運ぶ人の姿も多く見られた

◎納税意識の向上を図る

九月十四日、滞納者から差し押さえた動産を売却し、売上金を滞納税に充当する九州市町村合同公売会が高鍋町体育館で行われました。会場には差し押さえた家電や雑貨など三百四点が並び、町内外者約三百人が会場を訪れました。安くで品を購入するだけでなく、納税の義務を改めて感じる機会となりました。



この日、258点が落札され、約67万円が滞納税に充当された

◎男性、料理の腕前を披露

十月三日、町主催の「男性料理教室」で学んだ教室生たちが、家族や友人にその腕前を披露するランチバイキングが健康づくりセンターで行われました。教室生の近藤文年さんは「教室に参加して、 dashes の大切さを知りました。料理は楽しいですね」と話してくれました。



色とりどりに並んだ料理の数々。招待者は「盛り付けも味も文句なし!」と満足した様子で話してくれた

◎子どもの笑顔が集結

十月二十六日、高鍋町健康づくりセンターで、子育て応援フェスティバルが行われました。会場では工作や試食などさまざまなコーナーが設けられ、約千八百人の親子連れなどでにぎわいました。



白熱したミニカーレース。レースに出場した子どもも声援を送る親も一生懸命!

新入園児募集中



園庭や教室でいっしょに遊びませんか。

満2歳より就学前のお子様をお預かりいたします。

保育時間 7:30~15:00 延長保育有 18:30まで

2歳になったら聖母幼稚園へ 只今入園願書受付中

入園案内は高鍋町役場健康福祉課の窓口にあります。

入園ご希望の方はお電話下さい。



※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

第16回 西都・児湯の子どもたちによる絵画展



●会期

12月7日(日)~12月21日(日)
午前10時~午後5時

(入館は4時30分まで)

休館日:月曜日・祝日の翌日

●観覧料:無料

児童・生徒の力作を美術館に多数展示します。ぜひご覧ください。

わが町の宝物

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。
今回は、9月・10月の健診に来た元気なちびこたちです！

みんな元気に育ってね。



おぼた みゆひ
小畠 雅 ちゃん



たきぐち あい
瀧口 愛結 ちゃん



いわた ひなの
岩元 柁奈乃ちゃん



くろぎ しゆんのすけ
黒木 珠之輔ちゃん



もり れんと
森 蓮翔 ちゃん



おおもと けいと
大本 啓人 ちゃん



ふじわら あいな
藤原 娃奈ちゃん



かわはら りあ
川原 梨愛 ちゃん



おだ み
小田 ちな実ちゃん



たけした ゆうか
竹下 優花ちゃん



かわの りょう
河野 諒 ちゃん



とびた きりあ
飛田 岐凜空ちゃん



やすだ ゆりな
安田 優莉菜ちゃん



さかもと りょうせい
坂本 凌晟 ちゃん



ひろおか りあ
廣岡 李彩 ちゃん



うめもと たけみ
梅本 丈巳 ちゃん



たなか はると
田中 晴登 ちゃん



こだま ひなた
児玉 陽咲 ちゃん



ひの ちひろ
日野 智尋 ちゃん



くろぎ としや
黒木 敏矢 ちゃん



いわきり ゆな
岩切 夢心 ちゃん



しもぞの
下園 ひかりちゃん



ながた めい
長田 愛生 ちゃん



ただ そうたろう
多田 創太郎 ちゃん



くろいわ みれい
黒岩 美怜 ちゃん



みぞぐち ゆら
溝口 由來 ちゃん



ありかわ ゆめか
有川 夢叶 ちゃん



くぼた るる
久保田 瑠々ちゃん



やまもと るい
山本 琉葵 ちゃん



あんどう こうたろう
安藤 倅太郎 ちゃん



まつお ゆいの
松尾 優生乃 ちゃん



おおやま もなみ
大山 栞那実 ちゃん



はらの りおな
原野 梨桜奈 ちゃん



のむら まゆか
野村 真由佳 ちゃん



ひだか ゆうと
日高 優斗 ちゃん

広報たかなべ 2014. 11. 21 NO. 391

編集・発行／宮崎県高鍋町
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437
政策推進課／☎0983 - 26 - 2003
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>
※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。

人口と世帯数(11月1日現在・前月比)

人口／ 21,594人 (+41)
男性／ 10,225人 (+18)
女性／ 11,369人 (+23)
世帯数／ 8,926世帯 (+20)



TAKANABE TOWN